

種名と配列に関わる解説等（苔虫動物門）

○目録の解説

苔虫動物門は、岡山県野生生物目録 2009 では「触手動物門」とされていたが、これは筍虫動物門・腕足動物門を含む名称であり、今回は現在広く支持されている体系に準拠して門の名称を変更した。苔虫動物門においては、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

学名や分類体系はインターネット上のデータベースである WoRMS Editorial Board (2019) に概ね準拠した。

岡山県野生生物目録前版でのこの門の種数合計は、触手動物門として 3 種が掲載されたのみであったが、今回 10 種が新規追加された。新規追加種の多くは岡山大学玉野臨海実験所(1978)の記録による。

苔虫動物門の目録作成は協力員の多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）が中心となり、検討会委員の福田 宏の協力を得て行った。本解説は多留聖典が作成した。

○主な参考文献

岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議 (編), 臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 50-52 年度文部省科学研究費補助金総合研究 A 研究成果報告), 158-170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.

WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019 年 2 月 14 日閲覧)